

## 会議録

会議の名称	平成29年度第3回行財政改革推進委員会
開催日時	平成30年1月26日（金） 9時00分から10時20分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：横道清孝委員長 原田久副委員長 鈴木文彦委員 中村良二委員 駿河修委員 渡辺文子委員 事務局：飯島企画部長 古厩企画政策課長 高橋企画部主幹 直井企画政策課副主幹 近藤企画政策課主査 南企画政策課主任
欠席者	委員：伊藤俊介委員 牧野美佐子委員
議題	1 西東京市第4次行財政改革大綱の中間見直しについて（諮問） 2 第4次行財政改革大綱の中間見直しについて 3 第4次行財政改革大綱の中間取組状況について 4 第4次行財政改革大綱の評価指標について 5 その他連絡事項
会議資料の名称	資料1 第4次行財政改革大綱の中間見直しについて 資料2-1 第4次行財政改革大綱アクションプラン中間取組状況の概要 資料2-2 第4次行財政改革大綱アクションプラン中間取組状況一覧 資料2-3 第4次行財政改革大綱における財政効果額の推移 資料3 第4次行財政改革大綱における評価指標の推移 参考資料 第4次行財政改革大綱 ～地域経営戦略プラン～ 参考資料 第4次行財政改革大綱アクションプラン（平成29年度版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○発言者名： 発言内容</p> <p>《開会》</p> <p>○横道委員長： 定刻となりましたので、平成29年度第3回行財政改革推進委員会を開催いたします。</p>	

議題に入る前に事務局より報告があります。

○事務局：

本日の委員会でございますが、委員定数8名、出席者6名、欠席者2名で定足数を満たしておりますので、本委員会の成立をご報告いたします。

議題1 西東京市第4次行財政改革大綱の中間見直しについて（諮問）

市長から横道委員長へ諮問

議題2 第4次行財政改革大綱の中間見直しについて

○横道委員長：

それでは議題1の第4次行財政改革大綱の中間見直しについて、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料1に沿って説明》

○横道委員長：

ただ今、第4次行財政改革大綱の中間見直しについて、事務局より説明がありました。本日の諮問を受けて、本委員会において平成30年度上半期にかけて審議していくこととなります。ご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

○横道委員長：

第2次総合計画の後期基本計画の策定に併せて、第4次行財政改革大綱の中間見直しを実施するという理解でよろしいでしょうか。

○事務局：

平成30年度は第2次総合計画及び第4次行財政改革大綱の実施期間の中間年にあたることから、平成31年度から始まる後期基本計画との整合性を踏まえて、第4次行財政改革大綱の中間見直しを実施することとなります。

○横道委員長：

他にご質問・ご意見等がなければ、次の議題に入ります。

議題3 第4次行財政改革大綱の中間取組状況について

○横道委員長：

それでは議題3について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料2-1、資料2-2、資料2-3に沿って説明》

○横道委員長：

第4次行財政改革大綱の中間取組状況について、事務局より説明がありました。  
ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

○鈴木委員：

資料2-3において、例えば児童館と学童クラブの財政効果額が施設ごとに財政効果額の内訳が示されていますが、財務会計システム等で機械的に集計できる仕組みとなっていますか。

○事務局：

財政効果額の計上については、財務会計システム等で一括集計する仕組みではなく、それぞれの事業体系ごとに積み上げて集計しております。

○中村委員：

資料2-2において、過去3年間の取組状況に関する評価の推移が示されていますが、その成果はそもそも、最初に目標値の水準をどのように設定するかによって、相当変わってくると思います。その目標値の設定が適正かどうかは、どのように判断しているのでしょうか。

○事務局：

全ての取組項目ごとに統一的な基準で目標値を設定しているわけではなく、個別に所管課と調整しながら、他市比較等の客観的な数値を踏まえて目標値を設定しております。

現状と目標値の乖離が大きい取組項目については、毎年度のアクションプランにおいて、達成状況に即した目標値の時点修正を行っております。

○渡辺委員：

アクションプランの実施項目21-3「出張所・自動交付機の運用の見直し」について、取組状況の評価の根拠を教えてください。

○事務局：

実施項目21-3については、目標数値として掲げているマイナンバーカードの交付件数が未達成となっているため、取組状況の評価は「B」となっております。

○原田副委員長：

資料2-1において過去3年間の取組状況の評価の推移を見る限り、ABC評価の割合もあまり変わらず、新規項目と終了項目の出し入れも少ない印象を受けます。

例えば、実施項目16の「定数管理の適正化」などは、継続して取り組むべき項目であり、評価に関わらずアクションプランから外れることはないと思われます。

財政効果が大きい項目については、これまでに取組が進んでおり、新たな財政効果を生み出す項目が少なくなっているため、行財政改革というよりもモニタリング、行財政管理というべきものになっているのではないのでしょうか。

○横道委員長：

第4次行財政改革大綱の中間見直しにあたり、経常的にモニタリングしていく項目と

新たな財政効果を生み出す項目について、実施体系の見直しを含め精査していく必要があると考えます。

他に、ご質問・ご意見等がなければ、次の議題に入ります。

#### 議題4 第4次行財政改革大綱の評価指標について

○横道委員長：

それでは議題4について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料3に沿って説明》

○横道委員長：

第4次行財政大綱の評価指標について、事務局より説明がありました。

市の目指すべき中長期的な行財政運営の持続可能性や安定性、進捗及び達成状況を総合的に判断するため、第4次行財政改革大綱では6つの評価指標を設定しています。ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

○横道委員長：

平成29年度の評価指標の実績数値はいつごろ公表の予定でしょうか。

○事務局：

平成29年度決算に基づく評価指標の公表については、平成30年10月頃を予定しております。

○原田副委員長：

評価指標については、例えば市債現在高倍率などは変動要因が明確であるものについては、一時的に数値が悪化したとしても、想定の範囲内であれば問題ないと考えます。

本来の評価指標の活用としては、評価指標の推移をモニタリングしていくことによって、具体的にどのような行財政改革のアクションに繋がるのかという視点が重要であると考えます。

○鈴木委員：

現在の施策を推進した場合に、将来的に評価指標がどのように推移するかを把握することが重要であり、目標水準を達成するために、どの段階で財源制約をかけていくのかを判断するために評価指標を活用すべきであると考えます。

○横道委員長：

過去3年の経常収支比率を見ると、90%を超える水準で推移しているため、財政構造の弾力性という点からも課題ではないでしょうか。

○事務局：

経常収支比率については、都内類似団体平均と比較しても、西東京市は高止まりの傾向があり、扶助費・公債費等の義務的経費の増加に伴い、財政構造の硬直化が進んでい

るという認識は持っております。

○鈴木委員：

地方公共団体の扶助費の内訳を分析してみると、生活保護費と児童福祉費が増加し、同じくらいの割合を占めております。

生活保護費は一定の国庫補助があるため一般財源の投入割合が低いですが、児童福祉費は一般財源の投入割合が高いことが特徴的です。

西東京市においても、同様の傾向が見られるのではないのでしょうか。

○事務局：

西東京市においても待機児童対策が喫緊の課題であり、保育施設の新規開設にあたっては国や都から一定の財源措置があるものの、開設後の施設の維持管理コストが嵩んでいるのが現状であり、児童福祉費の増加に繋がっていると考えられます。

○鈴木委員：

以前に、都市公園の維持管理コストを分析したところ、新たな公園の設置を抑制したとしても、経常的な維持管理コストはあまり変わらない結果となっています。施設の維持管理コストの抑制には、施設の廃止を視野に入れて検討すべきであると考えます。

○事務局

将来的な公共施設の更新需要に備え、計画的な起債をしていくためにも施設整備費の平準化を図ることが重要であり、安定的な行財政運営のための客観的な指標として経常収支比率は活用できると考えております。

○鈴木委員：

国の動向としては、待機児童対策を含めた子育て施策にシフトしていくことは明確であり、一般財源に占める児童福祉費をどの程度抑制していくのかを判断する指標として、経常収支比率を活用することは有用であると考えられます。

○原田副委員長：

第4次行財政改革大綱で掲げた評価指標においては、当初ターゲットにしていた対象が、社会経済情勢の変化に伴い変わっている可能性があるため、新たな評価指標の設定も含めて、見直す必要があると考えられます。

○横道委員長：

他にご質問、ご意見等なければ、次の議題に入ります。

#### 議題5 その他連絡事項

○横道委員長：

それでは議題5「その他連絡事項」ですが、事務局から何かございますか。

○事務局：

委員会の今年度中の開催は、本日をもって最終回とし、来年度の第1回会議は5月頃の開催を予定しております。

次回の会議では、第4次行財政改革大綱の評価指標の目標値の修正及び新たな評価指標の検討、実施体系・実施項目の見直しについてご議論いただく予定です。

委員の皆様におかれましては、来年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

○横道委員長：

最後に、委員の皆様から何かございますか。

特になければ、以上をもちまして、平成29年度3回行財政改革推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。